

(別紙2-1)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年4月22日

【評価実施概要】

事業所番号	4270202700		
法人名	有限会社エクセル		
事業所名	グループホームあたご		
所在地	〒858-0918 長崎県佐世保市相浦町138-2 (電話) 0956-26-2288		
評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ		
所在地	〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号		
訪問調査日	平成21年4月3日	評価確定日	平成21年5月11日

【情報提供票より】 (20年 4月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年 3月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	16 人 常勤 12人, 非常勤 4人, 常勤換算 14.9人

(2) 建物概要

建物構造	木造り
	2階建ての 1～2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	9,000+実費 円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	- 円
	または1日当たり		800 円	

(4) 利用者の概要 (2月 1日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	3名	要介護2	3名		
要介護3	8名	要介護4	2名		
要介護5	2名	要支援2	-名		
年齢	平均 88.2歳	最低	81歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	最勝寺医院 大坪歯科
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、商店街の中に位置しており、地域と共にご利用者を支えていく関係が構築されています。町内会長や理美容室をはじめ地域の方々の協力は、ホーム運営やご利用者支援を外部から支える存在となっています。協力医療機関もご利用者を支える大きな役割を積極的に担われており、様々な関係先の協力によりホームが運営されていることがうかがえます。そのような環境の中でスタッフは、「ゆっくり・いっしょに・楽しく」といった理念の実現を目指し、日々の支援に従事されています。スタッフ間の良好な関係は、ご利用者の支援に反映されており、和やかな雰囲気の中で、ご利用者はそれぞれ自分のペースで過ごされています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回の評価結果に基づく改善活動が行われています。 前回の評価結果は、会議で検討され改善活動につながられています。評価制度を改善の機会と捉えた積極的な姿勢も見受けられます。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価へのスタッフ全員の積極的な関わりが見受けられます。 自己評価は全スタッフにより取り組まれています。スタッフからも振り返りや改善の機会と捉えられていることが聞き取れます。評価制度の意義の理解が浸透し積極的に取り組まれていることがうかがえます。</p>
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	<p>参加者の協力により定期的な開催が実現されています。 頻度については、概ね2ヵ月に一回開催されていることが会議録で確認できます。会議録は読み易く整備され、誰でも閲覧でき、意見をいただけるようにホームの玄関にファイリングされています。</p>
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	<p>ご家族の意見を大切にされています。 ご家族などからの意見は、日常的な聞き取りの他、意見箱や家族会などで聴取に努められています。更に積極的な取り組みとしては、アンケート調査が行われています。それらの中から得られた意見や要望は、会議で検討され改善につながられています。</p>
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	<p>地域と共存されているホームです。 町内会長や商店街の協力により、共にご利用者を支えていく関係が構築されています。理美容室の協力もご利用者支援の大きな支えになっており、保育所や小中学校とのかかわりも大切にされています。近隣の方々との日常的な交流もご利用者支援につながっているようです。</p>

(別紙2-2)

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆっくり・いっしょに・楽しく」と掲げられた理念は、地域の中で、また家庭的な環境の中での実現を目指して策定されています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフの定着率が良く、年々理念がより深く浸透していることが感じられます。会議の中でも理念を前提としたケアに関する話し合いが行われているとのこと。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域との関係は良好で、地域と共にご利用者を支える関係作りが行われています。町内会との連携も強く、行事なども含め、小中学校や保育園とのかかわりも大切にされています。町内会長や近隣の理美容室も積極的にかかわりを持っていただいています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価の結果については、会議で検討され改善活動が行われています。自己評価については、全スタッフで取り組まれており、その意義の理解や課題の共有化、自己の振り返りにも役立てられています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヵ月に1回の頻度で開催され、積極的な意見交換の実現に向けた取り組みが見受けられます。議事録については玄関に誰でも見れるようにファイリングされています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所の担当課にはホーム便りを持参され、情報交換の機会とされています。また、市主催の研修会等にも積極的に参加されています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族への書面によるご利用者の状況の報告が行なわれており、金銭管理についてもご家族による確認のサインが見られます。スタッフの入職や離職の報告もホーム便りで実施されています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や家族会の開催など意見を聴取する仕組みがあり、更に積極的な取り組みとしてアンケート調査も実施されています。その中で得られたご意見から衣服の汚れに対応するためのチェック表の活用など改善に向けた取り組みもうかがえます。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフとの懇親会や個別面談も実施され、有給休暇の取得を推進するなど、スタッフの働きやすい環境整備を心掛けられています。スタッフの異動が生じた際には、ご利用者への影響について検討され個別の対応を心掛けられています。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフ育成については、個別目標を立てその評価見直しによる継続的な育成が行われています。介護福祉士などの資格取得も支援され、スタッフによる資格取得も実現されています。その他、経験年数などを考慮した基礎研修の受講なども行われています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会やイベントでの交流のほか、他のグループホームへの実習派遣も行われており、その積極的取り組みは高く評価できます。今後も継続的に取り組まれグループホーム間相互の質の向上及びスタッフのスキルアップにつなげられることを期待します。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始前には、ご家族による見学やご本人との面会が複数回行われています。その中で得られた情報は、入居後の支援に活かすために記録されています。入居後もご本人の観察の他、ご家族や知人からの情報を基に馴染みの関係の構築を図られています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご利用者の生活歴などを重要視し、ご利用者と喜怒哀楽を共感できるよう努められています。ご利用者一人ひとりとの話し方など細部に注意され、家事や畑仕事を協働されています。人生の先輩を見習うことも多くあるとスタッフヒアリングでも聴かせていただきました。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴などをヒントにご利用者とのコミュニケーションに努められ、意向の把握が困難なご利用者については、声かけによる表情の変化や素振りなどによる意向の汲み取りに努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用開始時には、ご本人やご家族及び以前の利用先などから情報を収集され、アセスメント結果を基にプランが策定されています。プラン確定にあたってはカンファレンスでスタッフや関係者の意見を確認されています。その後、ご家族への説明が行われ同意が得られていることは書面でも確認できます。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	モニタリングは3ヵ月ごとに行われています。状態に変化が生じた際には、随時プランを見直されており、些細な変更については、プランへの追記や削除などで対応されています。変更事項については日誌等によりスタッフ間で共有する仕組みがあります。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助や理美容室への送迎などご家族の都合に応じた柔軟な対応を心掛けられています。外出・外泊は基本自由であり、ご利用者の以前の居住地へのドライブなども行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者の希望に応じたかかりつけ医が選択されています。かかりつけ医との関係構築にも積極的に取り組み、検査結果や医療に関する書面等はケースファイルに保管されケアに活かされています。また、検査結果はご家族に写しを配付し説明もなされています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に関する指針が整備され、ご家族からの同意も得られています。医療機関との連携も積極的に図られており、訪問診療や訪問看護なども定期的実施されています。また、看取りの希望などについても、ご家族と段階的に話し合いがもたれています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	声かけなどその人に応じた対応が行われており、基本丁寧で柔らかく対応されていることが確認できます。個人情報保護に関しても方針が整備され、ご家族の同意に基づいた対応が行われています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	天候や気分、体調に応じた対応を心掛けられています。生活歴や職業歴を活用した話題づくりや表情や素振りからの意向把握を心がけられ、その人に応じたペースで過ごされるよう努められています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材やご利用者の好みなどに配慮されメニューが作成されています。食事の開始はご利用者の意見で一緒に食されるよう「いただきます。」の挨拶を全員で唱和されていますが、食事のペースは急かすことなくそれぞれのペースで食べられています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日曜日以外は、毎日入浴することが可能となっています。シャワー浴も柔軟に対応されています。入浴剤の活用もされており、特に曜日の指定などはありません。異性介助に関しては同意のもと実施されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴などを重要視され、家事や畑仕事などでご利用者とスタッフが協働されています。畑ではジャガイモやきゅうり、ナスなど様々な野菜が収穫されています。また、近くの100円ショップでのお買い物もご利用者の楽しみの一つになっているとのことです。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日のようにお散歩されており、近隣の方とのコミュニケーションの機会にもなっているようです。その他、畑へ行かれたり、お花屋さんに行かれたり、と日常的に外出が可能な状況が整えられています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関に鍵はかけられておらず、外出にはスタッフが付添われています。玄関にはセンサーが設置されていますが、安全性を高めるためのものであり、音量には配慮が感じられます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地震防災マニュアルや避難訓練マニュアルが整備され、定期的に訓練が行われています。備蓄についても、飲料水や缶詰が確保されており、毛布や懐中電灯などの備品も用意されています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立については、サンプリングで管理栄養士に点検いただきアドバイスを受けられています。食事の形態や医療的な助言は医師より受けられており、摂取量なども記録され把握されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには季節の花がきれいに飾られ、季節に応じたご利用者の作品なども飾られています。清潔感があり、ご利用者もその中で自分のペースで思い思いに過ごされています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者の居室は、ご利用者の意向を踏まえご家族と相談しながらレイアウトされています。持ち込みに対し特に制限は設けられておらず、テレビや家具などが思い思いに持ち込まれています。壁の飾りについてもご利用者と相談され支援されています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票を添付すること。